「令和２年度里山づくり育成研修会」
実施報告書

丹波の里山づくり促進事業実行委員会

1） 企画内容

① 研修会のねらい

「丹波の里山づくり推進事業」では、過去 2 年間にわたって“森づくりフォーラム”と“里山育成研修会”の開催を通じて、丹波地域の里山づくりの発信と PR を行ってきた。

中でも平成 30 年度の研修会では、川上（木材の生産・供給現場）から川下（木材製品の加工・販売）までの現状を学びつつ商品開発を体験し、昨年度の研修会では実際の里山活動団体の取り組みについて作業体験を通じて学んだ。

今年度の研修会では、実際の里山づくりに必要なコンテンツ（調査から活用まで）ごとにプログラムを整理し、参加者が里山づくりへの具体的な行動を促すことを目的とする。

② 参加対象

- 丹波篠山・丹波地域に在住の方 15 名程度
- 施業を実践されている、もしくはこれから参加したいと思われている一般の方
- 里山活動団体に所属し、自身のスキルや知識を学びたい方

2） 各研修内容の報告

第 1 回：里山をめぐる環境の変化と将来ビジョンを知る	
日時：11/8 10:00~12:00	場所：丹波の森公苑
参加申込 21 人 当日参加 2 人	ゲスト講師：大住克博さん (元森林総合研究所)
元森林総合研究所の大住克博さんをお呼びし、里山林の成立の仕組みとこれからの管理・展望などついての講義を行った。まずは「里山林とはなにか」から始まり、コナラ林が形成された経緯を背景に、コナラ林を中心とした広葉樹林地の活用から管理までのお話を伺いました。その後、里山林と人との関係性の歴史を紐解きつつ、公園整備型管理への移行背景や内容、今後実践できそうな試験的な維持管理手法（小面積皆伐・薪づくり・ボランティアの有償化など）へのヒントなどをいただいた。今までとは違った視点での里山林の維持管理について学ぶことができた。	

第 2 回：里山の植生を知る・味わう	
日時：11/14 10:00~15:00	場所：大路こどもの森
参加申込 17 人	ゲスト講師：山崎春人さん(里山アドバイザー)

下三井庄自治会の活動地、大路こどもの森にて、アドバイザーの山崎さんにネイチャーガイドをつとめていただきました。前半は下三井庄自治会の活動紹介やこどもの森の変遷についてお話しいただき、またギャップを作り出すことにより植生が多様化していく様子や、こどもが山林で遊べるための工夫などを実際に見ることができました。後半は「食べられる」山づくりをテーマに、残すべき植生とそうでもないものとを見極めながらの下草刈りを行いました。

山林資源を有効活用していくために、資源のことを深く知り、また楽しむことで継続的な維持管理が可能になることを学びました。

第 3 回：里山を整備するノウハウを知る	
日時：12/19 10:00~15:00	場所：丹波篠山市垣屋の山林
参加申込 26 人 当日参加 5 人	ゲスト講師：山口祐助さん(自伐林協議会)

垣屋の山林（人工林）内で、自伐林家の山口祐助さんをお迎えし、実際の施業済み現場を巡りながら、山林整備に必要な道づくりのノウハウについて教えていただいた。まず地形をよく読みこみながら、基本の道づくりのためのルート設定について教えていただき、実際にスタッフや傾斜測定器などを使い、ルート設定のシミュレーションを行いました。後半は木の駅に移動し、山口さんが今までに取り組んできた道づくりの事例（成功例・失敗例など）を語っていただきました。

第 4 回：里山づくりのイベントに参加する	
日時：1/30→3/6 に変更 10:00~15:00	場所：丹波篠山市・森の学び舎
参加申込 19 人	ゲスト講師：足立伸也さん(Natural Backyard) 岡久もえなさん（森の学び舎）

コロナの緊急事態宣言を受け、第 4 回目の研修会を 3/6 に変更したため、「森の学び舎」のイベントとは連動できなかったが、森の学び舎の取り組みやフィールドワーク（かまどづくり）を行いました。放置された里山を、どのように参加者を募って維持管理や活用のための活動に繋げていくかのノウハウについて学びました。後半は、現場の山林にある赤土を使ってかまどを参加者でつくりました。現場にある資源だけで火起こしできる装置をつくれる技術は、防災面でも大きく役立つことを学びました。

第 5 回：里山資源を活用して、楽しんでみる	
日時：2/27→動画配信に変更	場所：café soto（撮影場所）に変更
参加申込 21 人	ゲスト講師：福畑慎吾さん （グリーンウッドワーク協会）

コロナの緊急事態宣言延長を受け、2/27 に予定していた第 5 回目の研修会を動画配信に変更して実施しました。里山の維持管理サイクルの一環で、資源を楽しみながら活用する方法として「グリーンウッドワーク」があり、今回はその取り組みついてにグリーンウッドワーク協会の福畑慎吾さんのアトリエ（café soto）にて説明していただき、実際に生木丸太を使ったスプーンづくりと器づくりのデモストレーションを撮影・編集し、後日参加者に向けて配信しました。

３） 資料編

①　打ち合わせ記録

（9月3日10:00-@バイオマス丹波篠山）

- 研修会企画立案の共有

（9月14日10:00-@県民局）

- 業務内容（方針）の確認
- 企画書草案を次回提示

（9月17日14:00-@県民局）

- 研修会の企画内容を確認
- 次回詳細な調整状況とチラシ案を作成・提示

（10月2日13:00-@県民局）

- 調整内容（講師陣・会場など）の確認
- チラシ内容の確認

※なお、9月から10月にかけて、打ち合わせの場以外でチラシ・企画プログラムなどの内容を確認をメールにて個別に行なっている。

②　そのほか資料

- 告知用チラシ
- 各回の次第
- アンケート
- 参加者名簿